

# はじめに

## 1 みえ県民意識調査の概要

県では、「みえ県民カビジョン」において、「県民力でめざす『幸福実感日本一』の三重」を基本理念として掲げています。このことから、県民の皆さんの「幸福実感」を把握し、県政運営に活用するため、一万人の県民の皆さんを対象に、日ごろ感じている幸福感や、地域や社会の状況についての実感などをお聞きする「みえ県民意識調査」を毎年実施しています。

昨年11月から12月にかけて実施した「第5回みえ県民意識調査」の概要は次のとおりで、集計結果は本年3月に公表したところです。

- 調査期間：平成27年11月～12月
- 調査対象：県内に居住する20歳以上の男女10,000人に対する郵送アンケート
- 有効回答数：5,236人（有効回答率 52.4%）
- 調査項目：
  - ・ 幸福感（第1回調査からの継続項目）
  - ・ 地域や社会の状況についての実感
  - ・ 県民指標の一部
  - ・ ご家族に関すること
  - ・ 「新しい豊かさ」を享受できる三重づくりに関すること

## 2 分析レポートの目的

「みえ県民意識調査」を詳細に分析した結果は、県民の皆さんの幸福実感を高めるために、政策議論の際の参考としてきました。特に、昨年度は、「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」及び「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定のための資料等として活用してきたところです。

今回の調査については、既に集計結果（報告書）を公表し、県の年次報告書である「成果レポート」にも主な結果を記載したところですが、「三重県経営方針」の策定及び当初予算議論の際の参考資料等として活用されるよう、戦略企画部職員による「みえ県民意識調査分析ワーキング」を設け、専門家の助言も得ながら、詳細な分析を進めてきました。

このレポートでは、幸福実感について詳細に分析した結果を整理した上で、県民の幸福実感と密接に関連しているものは何か、あるいは幸福実感向上のためにはどのような課題があるのかなどについて考察した内容を記述しています。この意識調査の結果だけで政策を判断することはできませんが、このレポートをきっかけとして、県民の幸福実感向上と政策のあり方等について議論が展開されることをめざしています。

## 3 本レポートの構成

第1章「幸福感の現状」では、10点満点で質問した幸福感の特徴や傾向等について見るため、属性別に集計するとともに、幸福感を判断する際に重視した事項や幸福感を高める手立てと幸福感の関係等をまとめ、政策の示唆を提示しました。

第2章「幸福実感指標の現状」では、「みえ県民力ビジョン」に掲げる15の幸福実感指標に対応する「地域や社会の状況についての実感」の属性別集計、第1回からの推移をまとめ、その特徴や傾向の把握に努めるとともに、どのような課題があるのか等についての分析と考察を行いました。

第3章「幸福感と幸福実感指標の現状に関する分析」では、幸福感と幸福実感指標が低くなった属性や指標に着目し、分析の視点と政策の示唆につながる主なデータを示し、政策の示唆を提示しました。

第4章「県政の課題に関する分析」では、今回調査で掘り下げることができる県政の課題について、分析の視点と政策の示唆につながる主なデータを示し、政策の示唆を提示しました。

第5章「今後の県政の課題になりうる分野に関する分析」では、今後人数や県民に占める割合が増加すると予測される属性項目や、幸福感が低い属性項目に着目し、特徴的な傾向がみられた分野について、分析の視点と政策の示唆につながる主なデータを示し、政策の示唆を提示しました。

第6章「新しい豊かさ」では、「みえ県民力ビジョン・第二次行動計画」で掲げた「新しい豊かさ」の実現に向けてどのような要素が重要かなど、分析結果を示しました。

第7章「調査・分析についての今後の検討課題」では、これまで行ってきた調査・分析を踏まえ、今後検討が必要だと考えている課題を示しました。

## 4 分析を進めるにあたって

第1回調査から、みえ県民意識調査分析ワーキングに参画いただいている鳥取大学地域学部の小野達也教授には、来県もしていただき、意識調査の結果を徹底的に分析し政策に活用することの大切さと、集計データの統計的な有意性の確認方法などについて具体的に説明をいただき、分析作業を後押ししてくださいました。

調査の実施や分析を進めるにあたり助言をいただきました皆さまには改めてお礼を申し上げますとともに、今後ともご助言をお願いしたいと思います。

## 5 その他（記載方法など）

- ・本レポートでは、10点満点で調査した幸福感についてのみ「幸福感」として記述し、地域や社会の状況についての実感を含む主観的な実感全体については、「幸福実感」として記述しています。
- ・データを属性別に細分化すると、どうしてもサンプル数が少なくなり、統計的な精度が低くなることから、出来る限りデータに統計的な有意性があるのかについて確認しました。また、属性項目のうち、職業の「その他の職業」、世帯類型の「その他世帯」、世帯収入の「わからない」は、原則として、記述を省略しています。
- ・スペース等の都合上、選択肢の表現等を趣旨が変わらない程度に簡略化して記述しています。また集計にあたっては、未回答の扱いや四捨五入の関係により、回答比率の合計が100%にならない等の場合があります。
- ・詳細なデータについては、データ集として別冊にまとめています。データが必要な方は、県ホームページ（[URL](http://www.pref.mie.lg.jp/KIKAKUK/HP/mieishiki) <http://www.pref.mie.lg.jp/KIKAKUK/HP/mieishiki>）をご覧ください。また、三重県戦略企画部企画課（TEL 059-224-2025 電子メール [kikakuk@pref.mie.jp](mailto:kikakuk@pref.mie.jp)）まで連絡をお願いします。